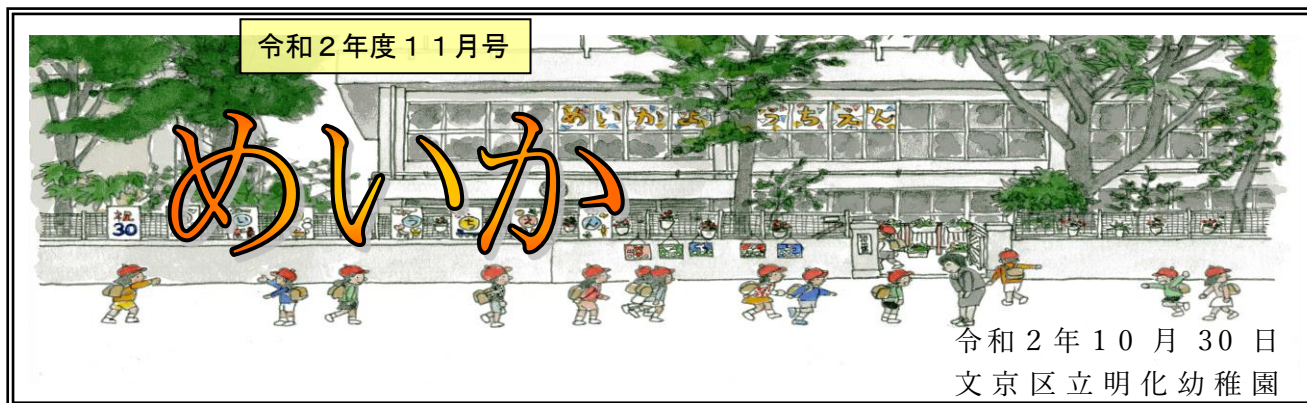




遊びの中で学ぶこと

園長 野田久美子

日ごとに、秋の深まりを感じるようになりました。子どもたちは、体を動かす心地よさを味わいながら様々な遊びを楽しんでいます。

運転手になり、廊下で段ボールの電車を走らせている3歳児。始めはそれぞれが思い思いに動いていましたが、AちゃんがBちゃんの電車を持って連結すると次々と真似をしてつながり始めました。最後には皆でつながり、「新幹線なの」と言いながら動くことを楽しみました。

友達と一緒に場を作り、同じ場で過ごすことを楽しんでいる4歳児。お母さん、お姉さん、赤ちゃんなど、自分のやりたい役になって遊んでいます。「赤ちゃんが泣いているの」「ご飯を作らなくちゃ」など、役になってやりとりをしたり、「ピクニックに行こう」と家族で出かけたりしています。

友達と誘い合い『宝取り鬼』をしている5歳児。「(宝を)取られないように守って」「私はろうやを守る」と、仲間と作戦を考え勝敗を楽しみながら遊んでいます。

幼稚園では、子どもが自ら選んで行う好きな遊びを大切にしています。興味をもった遊びを繰り返し行う中で、遊びへの意欲、根気よく取り組む力、試したり工夫したりする力などが育ちます。これらは『非認知能力』と言われ、小学校以降の学びにつながる大切な力です。私たち教職員は、日々の遊びの中で子どもたちが学んでいることを捉え、遊びがより充実するよう教育的な意図をもって環境を整え援助していきたいと考えております。



「新幹線で～す」



「赤ちゃんが寝ちゃったわ」



「宝を守るね」